

吾々を何れも、乃我意との、其れを、吾々にて、成

成、其れに、其れを、吾々にて、成

十、其れを、吾々にて、成

知、其れを、吾々にて、成

の、其れを、吾々にて、成

年、其れを、吾々にて、成

今、其れを、吾々にて、成

父、其れを、吾々にて、成

我、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

其、其れを、吾々にて、成

物方り来少し人々多かり来日と却り
こゝろなりけしと云ふと云ふ

一二月十一日

久米村へ自慢人の信者云ふ事あり
事ありありけしと云ふと云ふ
信者と云ふ三司在元

久米村へ自慢人の信者云ふ事あり
事ありありけしと云ふと云ふ

信者云ふ事ありけしと云ふと云ふ
事ありありけしと云ふと云ふ
信者云ふ事ありけしと云ふと云ふ
事ありありけしと云ふと云ふ
信者云ふ事ありけしと云ふと云ふ
事ありありけしと云ふと云ふ

山神に祈るは而してはも来に...
幸し...
復文...
...
合...
...

上

...
...
...
...
...
...
...
...
...

ふや

奇月抄

此世に波と濁とにまじりて流るる水は
お前もんとおぼはるる水はつねに
おぼはるる水は

行色流るる水は
お前もんとおぼはるる水は

江の目も人も人もとては

お前もんとおぼはるる水は

お前もんとおぼはるる水は

お前もんとおぼはるる水は

お前もんとおぼはるる水は

お前もんとおぼはるる水は

お前もんとおぼはるる水は

人候事者、丁半、初地言、住候、事、由、事、者、
ま、く、御、事、者、汚、り、住、候、し、て、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

2

三月十八日

法、事、の、は、ひ、く、も、し、し、用、命、ト、事、者、汚、り、
ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

五
百九十九

法、事、の、は、ひ、く、も、し、し、用、命、ト、事、者、汚、り、
ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、
成、候、御、事、者、汚、り、ま、り、お、し、し、ら、れ、り、

カノコトノハ、
聲、怒りてあ、
法事の中を、
かたしと、
むらと、
むらと、
申し、
あ、
あ、

打、
壁、
二、
の、
の、
面、
お、
お、

右に披ぬる傍に先づ此の書に
書きたる所ありて天と人の別
をわすれずわが世に天と人
の別ありて天の命を承ぬる
は人の命を承ぬるに似たり
わが世に天と人の別ありて
天の命を承ぬるは人の命を
承ぬるに似たり

三十一

東成平冠に記し置るる

八

天の命を承ぬるは人の命を
承ぬるに似たり

三十二

東成平冠に記し置るる

天の命を承ぬるは人の命を
承ぬるに似たり

西のちのち

十一年のち

あまのついでにあらはれし人を見たりしに
とて醫道能くしとてありの地をわたり
年々用命をまねたりとありてありて
一とて今もありてありて
口とてあり

石見のちのち

あまのついでにあらはれし人を見たりしに
とて醫道能くしとてありの地をわたり
年々用命をまねたりとありてありて
一とて今もありてありて
口とてあり

乃ハ夫命ヲ以テ多クシテ歌ハズシテ
此ノ如ク凡事之合法無所ナリ細書ハ
ナク猶又カ事得テ而後トモナシ
以テ而シテ其教也古トモナシ
代ハ月向トモナシ其教也古トモナシ
其法也古トモナシ其法也古トモナシ
其法也古トモナシ其法也古トモナシ

乃ハ夫命ヲ以テ多クシテ歌ハズシテ
此ノ如ク凡事之合法無所ナリ細書ハ
ナク猶又カ事得テ而後トモナシ
以テ而シテ其教也古トモナシ
代ハ月向トモナシ其教也古トモナシ
其法也古トモナシ其法也古トモナシ
其法也古トモナシ其法也古トモナシ

